

リオ・デ・ジャネイロ日本商工会議所50周年記念式典

期 日 2005年9月23日(金)
場 所 Iate Clube

堤会頭挨拶

在リオデジャネイロ日本国総領事神谷 武様、各関係諸官庁、日系団体・ブラジル企業幹部の方々、他ご来賓の皆様、SENHORAS E SENHORES, Boa Noite。50周年記念式開会に当たり、当商工会議所を代表致しまして一言ご挨拶とお祝いを申し上げます

70年前、1936年のちょうど今頃、本日の会場でありますヨットクラブの対面のあの公園にたたずんで、目の前のPão de Açúcarを大きく見上げ、次の言葉を残した作家が居ります。[巨大な岩山のそびえ立つ岸深で懐の深い港。暮れ行く湾頭の風光を眺め惜しんだ]この島崎藤村が読んだ、今も変わらぬ、そのたたずまいを背景に、本日ここに、皆様と50年記念のお祝いの式を執り行うことになりました。

丁度50年前、時は、クビチェッキによりブラジリアへの首都移転の方向付けがなされ始め、またしばらく後VWのブラジルで国産乗用車初のカブトムシ(ビートル)が、リオの町を颯爽と走り抜けるこの時代、年表によりますと、1955年9月25日、戦前からありました蜂谷商会を中心に、現在の当商工会議所の母体であるリオ日伯商業会議所が誕生し、その後1971年末、現在のリオデジャネイロ日本商工会議所と名称を変更致しました。

50年前、時を同じくして設立された、当市企業を代表するリオドセ社、昨年50年を祝ったペトロブラス社が、また本日お出で戴だいている日系の組織でも、体育連盟、先般50年のお祝いをされましたニテロイ日系協会など次々に産声を上げ、ある意味で、ここにお集まり頂いた多数の皆様とも、手に手をとって過ごしてきた半世紀であったかと思います。

笠戸丸から考えますと、このほぼ百年で、現在日本で働いておられる日系の方の人数をほんの少し下回る25万人の日本人がブラジル各地で大きな貢献をして来られました。ここにご参集の皆様始め、その功績に対し、大いなる敬意を表し度いと思います。日本では、この50年、敗戦から抜け出し、迎える高度成長、オリンピック、東京万博、バブル及びその崩壊、それに阪神大震災を含む様々な事柄に綾取られる激動の時代を過ごし、当地においても、世界の動きや日本のそれにシンクロナイズするように日本企業の進出、成長、国の経済混乱、インフレ、石油ショック、累積債務などによる困難な環境での挫折、撤退など喜怒哀楽を歴史の中に飲み込むには充分な期間である50年がそこにありました。

それやこれやを経て、現在は登録会員数は、個人も含め59社となっています。その歴史の個々のシーンを語るには、この場に置いては時間があまりにも足りませんが、しかし、その一こま一こまを作り継続して来れたのは、間違いなく、それを包んでくれたブラジル社会や企業、またその周りでご協力、ご支援頂きました皆様や先達の方々の勇気と努力の集積であることは間違いありません。今、50年という、めぐり合わせの場において、26代目の会頭としてこの場で開会のご挨拶をできることに厳かな緊張と喜びを感じております。

私事では有りますが、自分は、お世話になる会社や社会に対する、【貢献】と【信頼】として、一步を踏み出す【少しの勇気】をもって、屈託無くことに当たることを自分の信条として参りました。この気持ちは、リオにおいても全く同じであります。

今夜は、3時間ほどのお祝いの宴となりますが、限られた時間と人数の中で、この半年、一生懸命準備致しました。先輩達への敬意とお祝いの気持ちを、本日、ここにご参集の皆様と共に分かち合えれば幸いです。

なお、本日の祝賀にあわせ、別途、各方面から寄せられた祝辞などを掲載した50周年記念誌も準備して参りました。今夜のお祝いの写真や皆様のメッセージも商工会ホームページ含め追加掲載し、配布の予定にありますことをご報告しておきます。

本日は、サンパウロから、ブラジル日本商工会議所の田中会頭、ベレン(パラ)から五十嵐副会頭、マナウス(アマゾナス)から山岸会頭及び丸岡専務理事もお祝いにご参加下さいました。初めてお目にかかるという方も多いと思いますが、是非、ご一緒にご歓談下さい。

最後となりますが、お祝いの記念として、しおり(ブックマーク)を準備致しました。お帰りの際に、是非お持ち下さい。会員企業およびご参集の皆様の今後益々のご健勝をお祈りすると共に、そのしおりの中に、気持ちを込めて書きましたポルトガル語と日本語の言葉を、この記念式の開会とお祝い、それに今後の50年、百年に向かう期待を込めた私のご挨拶の言葉として締めくくりたいと思います。

初春の頃、50年の旅の途中で、、、

〔ポルトガル語; O caminho nunca é longo demais, quando um amigo não nos esquece.

(われわれを頼りにする人が一人でもいれば、この道のりが長くに過ぎるという事は無い。歩き続けよう。。。)

〔日本語: 君が出来る 全ての手段で、
君が出来る全ての場所で、
君が出来る全ての時に、
君が出来る限り。
【ここ】と【今】しかない【時】

祝、50年！

本日は、お忙しい中、お集まりいただき本当にありがとうございました。



